

SIIG 社 USB カード (DP Hi-Speed USB 4-Port PCIe)、 Tech Source 社 グラフィックカード(GFX 550e)、 Rextron 社 KVM コンソール・ドロー(Model HKS10) と SPARC Enterprise M3000 の接続検証結果報告書(第二版)

株式会社 昌新
 技術部

1. 作業実施概要

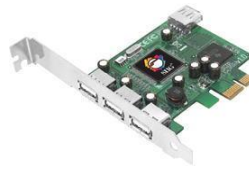
SIIG 社の USB インタフェースカード DP Hi-Speed USB 4-Port PCIe と、Tech Source 社のグラフィックカード GFX 550e と、Rextron 社 KVM コンソール・ドロー Model HKS10 と、SPARC Enterprise M3000 との 接続・動作確認を実施致しました。

2. 被検証装置

品 名	型名	記 事
富士通 UNIX サーバ	SPARC Enterprise M3000	Solaris(TM) 10 SunOS Release 5.10
USB インタフェースカード DP Hi-Speed USB 4-Port PCIe	JU-P40112-S1IS	RoHS 対応
グラフィックカード Raptor GFX 550e	19-0156-02IS	RoHS 対応
KVM コンソール・ドロー Model HKS10	REX/HKS10-IUM8D	RoHS 対応



SPARC Enterprise M3000



USB PCIe Interface Card
 DP Hi-Speed USB 4-Port PCIe



Raptor GFX 550e



REX/HKS10-IUM8D

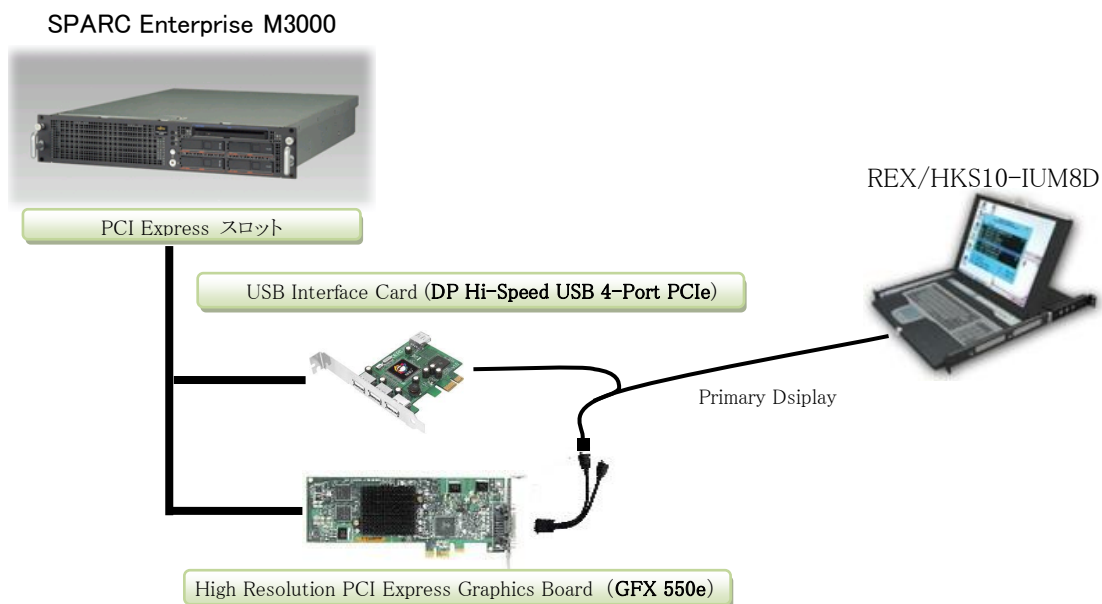
3. 作業期間

2009 年 2 月 20 日～24 日

4. 作業場所

Platform Solution Center 30F Server Room 30-1

5. 実施システム構成(概要)



- (1) USB Interface Card (DP Hi-Speed USB 4-Port PCIe)
- (2) High Resolution PCI Express Graphics Board (GFX 550e)
- (3) Primary Display , K/B, Mouse (REX/HKS10-IUM8D)
- (4) SPARC Enterprise M3000 (Solaris(TM) 10 SunOS Release 5.10)

6. 検証項目

- (1) SPARC Enterprise M3000 を起動し、OS 起動完了後、
 - ① USB インターフェースカードに接続した USB キーボード/マウス が認識できる事。
 - ② グラフィックカード GFX550e が認識できる事。
- (2) X-Window を起動し、画面が HKS10-IUM8D の LCD 画面で、X-Window ログイン画面が確認出来、キーボード・マウスから操作できる事。
- (3) 起動した X-Window において、キーボード配列が、
 - ① 英語キー配列仕様
 - ② 日本語キー配列仕様で、正しく入力操作ができる事。

7. 接続手順

次の手順により、SPARC Enterprise M3000 と接続します。

- a. SPARC Enterprise M3000 の電源を OFF します。
- b. USB インタフェースカード を M3000 の PCI Express スロットに挿入します。
- c. グラフィックカード GFX 550e を M3000 の PCI Express スロットに挿入します。
- c. GFX 550e ビデオ信号出力コネクタへ、REX/HKS10-IUM8D 専用ケーブルのコンピュータ側ビデオ入力コネクタをアナログアダプタ経由で接続します。
- d. USB インタフェースカード の USB コネクタへ、REX/HKS10-IUM8D 専用ケーブルの USB キーボード/マウス の USB コネクタ とを接続します。
- e. REX/HKS10-IUM8D 専用ケーブルの HKS 側を REX/HKS10-IUM8D 入力側へ接続します。
- f. M3000 の電源を ON し、OS を起動します。
- g. root でログイン後に、グラフィックカード GFX 550e のドライバーソフトウェアをインストールします。

8. 検証結果

(1) USB インタフェースカード DP Hi-Speed USB 4-Port PCIe の認識、及び、グラフィックカード GFX 550e の認識は、SPARC Enterprise M3000 起動後、prtconf から確認致しました。

※ prtconf のケース

```
|
pci, instance #4
  pci, instance #0
    usb, instance #0
    usb, instance #1
      device, instance #0
        keyboard, instance #0 ←← 認識 OK   USB キーボード
        mouse, instance #1   ←← 認識 OK   USB マウス
      usb, instance #0
    |
  pci, instance #6
    pci, instance #1
      TSL,mko, instance #0 ←←← 認識 OK   GFX 550e
    pci, instance #7
    |
```

(2) X-Window を起動し、グラフィックカード GFX550e 経由 HKS10-IUM8D の LCD モニターと、キーボード・マウス とで、X-Window システム を操作出来る事を確認致しました。

グラフィックカード GFX 550e ドライバーソフトウェアのインストール後に、X サーバ設定ファイルで、X サーバ設定ファイルを置き換えます。

```
# cd /usr/dt/config
# cp Xservers Xservers.org
# cp Xservers.mko Xservers
```

次に M3000 をリブートする事で、OS 起動完了後に、X-Window が起動され、HKS10-IUM8D の LCD 画面に X サーバログイン画面が表示され、HKS10-IUM8D のキーボード、マウスから、ログインできる事を確認致しました。

【キーボードキー配列の変更方法】

HKS10-IUM8D のキーボードキー配列仕様に変更するには、“kbd -s”コマンドで調べたシステムに登録されているキーボード名を /etc/default/kbd ファイル内の layout 行の “layout=”以降に定義することで変更します。検証用に再定義したキーボード名は、“Japanese” と “US-English” です。

■ “kbd -s”コマンドで調べたシステムに登録されているキーボード名

1. Albanian	17. Malta_US
2. Belarusian	18. Norwegian
3. Belgian	19. Portuguese
4. Bulgarian	20. Russian
5. Croatian	21. Serbia-And-Montenegro
6. Danish	22. Slovenian
7. Dutch	23. Slovakian
8. Finnish	24. Spanish
9. French	25. Swedish
10. German	26. Swiss-French
11. Icelandic	27. Swiss-German
12. Italian	28. Taiwanese
13. Japanese-type6	29. TurkishQ
14. Japanese	30. TurkishF
15. Korean	31. UK-English
16. Malta_UK	32. US-English

【制限事項】

① サーバー起動時のシステムコンソールは、XSCF 経由でのシステムコンソールとなります。システムコンソールの入出力に、グラフィックカード GFX550e 出力と、キーボード入力を設定する事は出来ません。

② M3000 のみの適用となります。その他 M シリーズにつきましてはカードがうまく挿入できずサーバ側でカードを認識できない場合があります。

※2010年3月17日追加:

M4000にて動作確認済み、これをもって M4000/M5000 も適用可とします。

M4000 検証報告: http://primeserver.fujitsu.com/partner/rov/shoshin/shoshin_24.html

③ HKS10-IUM8D のキーボード配列(英語キー配列 or 日本語キー配列)は、ご注文される際に、ご指定ください。

ご注意

動作確認が取れている組み合わせは、

弊社 USB カード(DP Hi-Speed USB 4-Port PCIe [P/N: JU-P40112-S1IS])、

弊社グラフィックカード(Raptor GFX 550e [P/N: 19-0156-02IS])、

弊社 KVM コンソールドロア(Model HKS10 [P/N:REX/HKS10-IUM8D])

となります。これ以外の組み合わせにつきましては動作保障致しかねますが、まずは下記連絡先にお問い合わせ下さい。

お問合せ先

株式会社昌新

情報システム営業部 (担当: 浅利)

TEL: 03-3270-5926

E-mail: IS@shoshin.co.jp

URL: <http://www.shoshin.co.jp/c/tsi/index.html>

以上